

AXIS Live Privacy Shield

汎用性が高く動的なプライバシーマスク

AXIS Live Privacy Shield は、プライバシーを保護すると同時に、活動をリモートで簡単に監視することができます。リアルタイムで動的なプライバシーマスキングを実現する2つの異なる方法をサポートしています。互換性のあるすべてのカメラは、モーションベースの機能を使用して、背景のシーンと比較してすべての移動する物体をマスクすることができます。この機能は厳しいプライバシー要件に対応しており、安定して十分な明るさがある屋内に適しています。互換性のあるDLPUカメラは、アプリケーションのAIベースの人物認識機能を利用して、屋内外のさまざまな照明条件下であっても人物、顔、背景をマスクすることができます。どちらのマスキング方法も、「除外」ゾーン、カラーやモザイクのマスキングに対応しています。

> プライバシーの保護

> リアルタイムのエッジベースの動的マスキング

> モーションベースのマスキング

> ディープラーニング(DLPU)カメラを選択するためのAIベースのマスキング

> 無料ダウンロード



AXIS Live Privacy Shield

一般	
代表的な使用事例	活動の監視と、リアルタイムの動的プライバシーマスキングを使用したプライバシー保護を両立します。照明が安定していて、プライバシー保護が必要な屋内シーンに向けたモーションベースの方法。製造施設、病院、老人ホーム、学校、ホテル、オフィス、店舗などの屋内外のシーンで、人間、顔、背景をマスキングするAIベースの方法。
対応デバイス	すべての互換性のあるカメラで利用でき、無料でダウンロードできます。モーションベースの方法: すべての互換性のあるカメラ。AIベースの方法: 選択された深層学習 (DLPU®) カメラ。推奨する製品および対応している製品の全リストについては、 axis.com を参照
コンピューティングプラットフォーム	Edge
設定	Web ブラウザーを使用する: Chrome™ または Firefox®
言語	英語
機能	
画像設定	モーションベース、またはAIベースの方法 カラーまたはモザイクマスキング ポリゴンを含むゾーンと除外するゾーン AIベースの方法: 人間、顔、背景のマスキング
フレームレート	モーションベースの方法: フルフレームレートまで AIベースの方法: カメラのモデルに応じて5~10フレーム/秒
制限	モーションベースの方法: 照明が安定している屋内環境に限られます。反射面のあるシーンには推奨しません。 AIベースの方法: ボールなどで部分的に視界が遮られている人は、マスキングされない場合があります。また、ピクセル密度が100ピクセル/メートル未満のシーンでは、人物が完全にマスキされない可能性があります。
システムインテグレーション	
アプリケーションプログラミングインターフェース	個別に設定可能な複数のマスクされたストリームと、最大1つのマスクされていないストリームは、VAPIX® API を介してカメラから取得できます。このアプリケーションは、VAPIX® API を介して有効/無効にすることができます。AXIS Camera Application Platform に対応しています。仕様については axis.com をご参照ください

a. DLPU = 深層学習処理ユニット

環境責任:

[axis.com/environmental-responsibility](https://www.axis.com/environmental-responsibility)